

レガシーの火を灯し続ける

市では、熱戦に向けさまざまな準備を進めてきました。その過程で培ってきたものは東京2020大会レガシーとなり、市の取り組みとして今後も継続していきます。 **問**オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課 ☎724・4442

東京2020大会レガシー2 パラスポーツを普及し魅力を伝える

町田市は、2019年度に国から共生社会ホストタウンとしての認定を受けました。今後も、パラスポーツの魅力を伝えるため、多くの市民がパラスポーツに触れる機会づくりに取り組んでいきます。

パラバドミントン体験教室

2017年度から、(一社)日本障がい者バドミントン連盟の協力のもと、市立小学校に日本代表選手を派遣していただき、パラバドミントン体験会を開催しています。現在まで、延べ3563人の子どもたちがパラバドミントン体験会に参加しました。

🔍まちテレvol.183

検索



2019年11月放送分“まちテレ”より

パラバドミントンサポートシティ

2019年度、(一社)日本障がい者バドミントン連盟と「パラバドミントンサポートシティに関する覚書」を締結しました。パラバドミントンの大会及び合宿の実施や、競技の普及啓発、情報発信等について、相互に連携し魅力を伝えていきます。

東京2020大会レガシー3 ホストタウンの取り組み

市では、東京2020大会の事前キャンプ招致を契機に南アフリカとインドネシアのホストタウンに登録し、両国と交流をしてきました。ホストタウンの交流はスポーツにとどまらず、文化交流、市民団体が主体となった国際交流も行われています。

ネルソン・マンデラ国際デー

2016年度の南アフリカのホストタウンの登録以来、7月18日のネルソン・マンデラ国際デーを中心に、毎年交流を図ってきました。いつも民衆のために活動してきたネルソン・マンデラ元大統領の遺志を継ぎ、ネルソン・マンデラ国際デーの活動は今後も継続していきます。



トレーニングキャンプの受け入れ

2017年からインドネシアパラバドミントン代表チームの事前合宿の受け入れを4回行い、市立小学校児童との交流や、市民との合同練習を行ってきました。東京2020パラリンピック事前キャンプでは、選手とのオンラインミーティングや、感染症対策を講じたうえでの公開練習を行いました。

選手の皆さんは「ぜひまた町田でキャンプを行いたい」と何度も話していました。



夢と希望をありがとうございました ～東京2020大会 町田市ゆかりの選手の紹介

オリンピック

- ・大迫傑選手(金井中出身)男子マラソン
- ・畠田瞳選手(南成瀬中出身)女子体操(団体)
- ・青山修子選手(藤の台小出身)テニス女子ダブルス
- ・松井千士選手(横浜キャノンイーグルス所属)ラグビー

パラリンピック

- ・水田光夏選手(桜美林大学出身)射撃10mエアライフル伏射
- ・寺西一選手(市内在住)・佐藤大介選手(成瀬台中・成瀬高校出身)5人制サッカー

東京2020パラリンピック5人制サッカー 5位入賞!

5人制サッカー(ブラインドサッカー)日本代表の高田監督、寺西選手(市内在住)と佐藤選手(成瀬台中・成瀬高校出身)が市役所を訪れました。

高田監督は、「メダル獲得を目指していたので5位という結果には満足していないが、初出場のパラリンピックで日本の強さを世界に知らしめることができた価値のある大会だったと考えている」と振り返りました。寺西選手や佐藤選手は、「地元の方々からの応援がとても力になった。これからももっと応援を頂けるように頑張りたい」と今後の意気込みを語られました。



次の北京オリンピックを目指す次世代アスリート 富高日向子選手インタビュー



金井中出身・21歳

▶競技

スキー・フリースタイル女子モーグル

▶主な戦績

フリースタイルスキー世界選手権(2021年3月カザフスタン・アルマトイ)5位

▶得意なエアトリック

コーク720

・東京2020オリンピック聖火ランナーを務めて

聖火リレーが本当にできるのか半信半疑だったので、聖火を繋げることが嬉しくて、張り切ってセレモニーに参加しました。第一走者ということは当日初めて知らされて、とてもびっくりしました。実際に火のついたトーチを持って次の方に繋いだときは、とても感動しました。

・モーグル選手として

小学1年生の時にモーグルを知り、当時現役選手として活躍されていた上村愛子さんに憧れて小学4年生の時に本格的に競技を始めました。上村さんは、今も変わらず私の最も尊敬するアスリートです。

・モーグルの魅力とは

短い競技時間の間にこぶと2回のアアがあり、変化があつて見どころが多いところです。プレーすることももちろん楽しいのですが、見ている方にも楽しんでいただけるスポーツだと思います。

・北京オリンピックに向けて

東京2020大会をテレビ観戦して、あらためてオリンピックから大きな感動と勇気をもらいました。小学生のころ初めて大会に出た時から、オリンピックに出場することを目標にしてきました。まずは2021-2022シーズンに怪我をせず良い成績を残すように頑張ります。



今も未来も大切に
町田市のSDGs

